

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はんざわ体操アカデミー			
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日 ~ 令和7年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数)	42名
○従業者評価実施期間	令和7年9月20日 ~ 令和7年10月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名(項目により「わからない」と回答した職員がいます)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大きな体育館があるため、天候等に左右されず活動の幅を広げることができます	体操教室で使用している体育館なので、運動機能を高めるには最適な環境となっています 体育館には大きなトランポリンやタンブリングトランポリンが設置されており、体感機能が強化されます 体操だけにこだわらず、大きなフロアーではボール遊びや鬼ごっこなどをして活動の幅を広げています	児童がより楽しく意欲的に来所できるように、様々なイベント等を支援内容へ盛り込んでいきます
2	基本的には集団活動をメインとしていますが、児童や保護者のニーズに合わせて、個別療育や多様な活動内容を考え支援しています	個別支援計画や支援プログラムをもとに、活動内容を日々検討しています。そのなかで、児童一人一人が自己選択できるようにしています 保護者とは積極的に会話をし情報共有しながら、児童への適切な支援に努めています	他事業所や他機関との連携を図りながら情報共有、情報提供をして頂き、より一層良い支援を行っていきます
3	土曜日や日曜日、祝日、学校長期休暇に際しては、お昼ご飯を無料で提供しています おやつについても無料提供させていただいている	簡単なメニューではありますが、毎回同じようなメニューにはならないように、メニューを工夫しています お手伝いを希望する児童には、一緒に食事の準備をしています アレルギーに関しては、保護者へ確認を取りながら十分に注意して、提供をしています	好き嫌いや偏食の児童が多い為、食事の楽しさを伝えながら、好き嫌いや偏食を減らしてもらいたいです 児童が自ら調理をする機会を設けて、食育としての学びを実感してもらいたいです

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	連絡ツールが少なく、連絡が付きにくいときがあります	メールやLINE、システムツールを常に管理できる職員がいない為、急な対応ができず、主に電話対応のみになってしまっています 支援(現場活動)を優先としている為、現状の職員人数ではすぐ確認することが難しいです	職員を増やす為の対策は図っていますが、現状増加することが難しいです より効果的な職員紹介サービス等を活用し、人員増加へ努めます 現代にあったシステムツールを活用し、問い合わせ等の簡略化などを図っています
2	他事業所や他機関との連携が少ないと感じています	児童の支援を最優先としているため、連携(会議、話し合い等)の時間を、他事業所と合わせることが困難です	他事業所等との情報共有が支援の向上や見直しに繋がることもあるので、職員全体で連携時間を確保出来るよう、計画的なスケジュールを立て取り組みをしていきます
3	送迎の人員が少なく送迎範囲が手稻区内のみとなっていることや、曜日によっては決まった学校にしかお迎えが行けない為、新規の受け入れが難しい場合があります	現状の職員数で、人員配置をしっかり行った上、送迎範囲をやす事が困難と感じています	新規の受け入れがより柔軟に行えるように、人員増加に努めます 送迎担当の職員を検討しています